



宮城牛タンラウンド報告

平成27年6月6日 仙台市体育館



1 話題提供1 「日常的な体育科の授業から」
 仙台市教育センター 指導主事 高橋 清

効果的な指導の工夫や方法、課題と思われる点について話題提供いただきました。参加した皆さんからは、「自分の授業を振り返るよい機会となった」「小学校だけではなく、中学校の指導内容も理解して指導にあたる必要があると気付いた」などの感想が寄せられました。

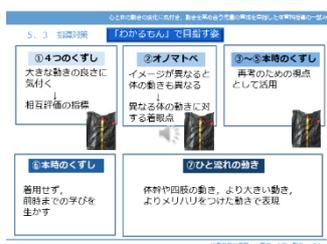
話題提供後に、参加者が意見や考えを交流する中で、体育科の授業の現状及び解決すべき課題を明確にすることができました。皆さんの話を聞くと、本県においては、小学校体育科の授業において、授業の質を向上させることが喫緊の課題であると感じました。

2 話題提供2 「体づくりアプリを試そう」
 東京国際大学人間社会学部 専任講師 木原 慎介

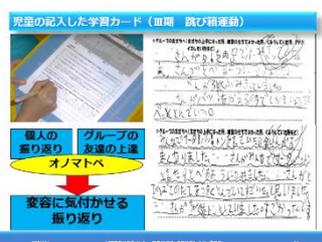
当初は、「体づくりアプリ」を自由に操作していただく予定でしたが、佐藤豊先生の発案により、急きょアプリ開発に携わった木原先生が教師役となり、模擬授業形式で皆さんにアプリを体験いただきました。

体力・運動能力に応じて運動をプログラムできたり、知識・理解に関する問題に挑戦できたりするアプリケーションソフトに驚きと感動の声があがりました。これからの体育科・保健体育科の授業においては、ICT機器を効果的に活用する力も求められていくことを参加者全員で共通理解することができました。

3 研究発表・実践発表 松島町立松島第一小学校 教諭 小原 静乃
 名取市立下増田小学校 教諭 及川 清太郎
 巨理町立荒浜中学校 教諭 高橋 健一



松島町立松島第一小学校、小原先生に、「第4学年『表現』におけるアイデア交流を通して、心と体の動きの変化に気づき、動きを高め合う児童の育成を目指した体育科指導の一試み」について発表していただきました。表現したり友達と関わって動いたりすることの楽しさを味わわせるために小原先生が考案した「わかるもん」を活用して、生き生きと取り組む子供たちの姿が印象に残る発表でした。



名取市立下増田小学校、及川先生に、「運動の楽しさを味わいながら、技能を身に付けていく授業を目指した一十分に動くための見通しと変容に気付く振り返り

りの充実を図った授業実践」について発表いただきました。オノマトペを使って、体の動きを表現したり友達にアドバイスしたりしながら学び合う子供たちの姿が印象に残る発表でした。



巨理町立荒浜中学校、高橋先生に「保健体育科における防災教育の実践」について、震災から5年経過した宮城県の現状、子どもたちの姿を交えながら、保健体育科の授業において実践された防災教育について発表いただきました。多くのことを乗り越えて、自助・共助について学ぶ子どもたちの姿が印象に残る発表でした。

発表された3人の先生方は、平成25年度、平成26年度に長期研修員として宮城県総合研修センターにおいて研究実践をされた方々です。今年度は、勤務校にて研究を深化させ、子どもたちに還元していきます。

発表後は、研究のための授業にならないために留意すべきこと、体育を苦手とする教員のみなさんはじめ、多くの方に活用していただける研究にするために必要なこと、子どもたちが楽しみながら体を動かすことができる授業にするために大切なことなどの視点で意見交流ができ、参加者全員が3人の研究を通して体育科・保健体育科について視野を広げるとともに、学びを深めることができました。

発表者の3人の先生方も、実際に授業をされる教員の皆さんや専門的知識をもった指導主事の皆さん、大学の先生方から助言をいただき、研究の課題や方向が明確になったと話していました。

■ 3人の発表内容の詳細は宮城県総合研修センターHP <http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/study/> に掲載されています。

3 振り返り 鹿屋体育大学 佐藤 豊

今回のラウンドの内容について「体育科・保健体育科におけるアクティブラーニング」「体育科・保健体育科が育む資質・能力」と関連付けて、次の学習指導要領改定における体育科・保健体育科の動向や、これからの教員に求められる授業力について詳しく話していただきました。

豊先生の話聞きながら、参加者全員がそれぞれの立場で、何をしなければならないか、どのように子どもたちと向き合っていくかを考える有意義な時間となりました。

■ ラウンド後記

今回は、小学校教員、中学校保健体育科の教員、支援学校教員、指導主事、大学教授等の方々に参加いただき、多種多様な立場から意見をいただくことができました。特に、西部地区の愛媛県の門田先生、広島県清田先生、体育科の授業が得意ではない小学校教員の皆さん、特別支援教育に関わる皆さんに参加していただき、交流を図れたことが有意義であったと思います。次年度はアダプテッドスポーツの観点からも体育科・保健体育科を見つめられるようなラウンドにします。